

2018年3月6日

## 西友、若年無業者への就労支援を継続助成

### 2018年は新たに物流センターでの実習、関西エリアでの支援を開始 ～第15回企業フィランソロピー大賞「はたらく幸せ賞」を受賞～

合同会社西友では、若年無業者への就労支援に取り組む、認定特定非営利活動法人(認定 NPO 法人) 育て上げネット(東京都立川市、理事長 工藤 啓、以下 育て上げネット)への助成を、2018 年度も継続実施することを決定しました。育て上げネットへの助成は 2013 年開始以降、今年で 5 回目になります。

西友では今回の助成を通じて、以下の支援を引き続き実施することにより、向こう1年間で 27 名の若年無業者への支援が可能になります。

- ① 育て上げネットが直接支援する低所得世帯の若年無業者を対象に、5 日間の西友店舗での職場実習を含む就労支援プログラム「ジョブトレ」を 3.5 か月間無償で受講し、交通費補助と就活サポートを受けられる「西友パック」提供  
→15 名は西友店舗で、また今年から新たに 2 名が西友の物流センターで実習を実施
- ② 育て上げネットが行政から受託している就労相談機関の利用者へ、西友店舗での 5 日間の職場実習を含む就労支援プログラム 0.5 か月間の無償受講と交通費補助の提供  
→利用者 10 名の内、8 名は関東の西友店舗での実習、2 名は初となる関西エリアの西友店舗での実習を実施
- ③ 支援対象者に「ウィークタイズ」\*1プログラムを通じて、一度決定した就労を継続させるため、ジョブトレ終了後も永続的に、就職相談や就職後のキャリアの目標を考える専門カウンセリングなどのサービスを提供(ただし、関西エリアでの実習者を除く)

\*1 ウィークタイズ("Weak Ties")とは、米国の社会学者グラノヴェッターが提唱した「求職等のケースでは、家族・友人よりも、「弱いつながり」の関係性が役立つ」という考え方を指す

これまでに合計 69 名に対して就労サポートを実施し、54 名が実際に就職を果たしました。そのうち 27 名は西友店舗に就職し、アルバイトから正社員に昇進できる社内制度を利用して、さらなるキャリアアップを目指しています。

西友が育て上げネットと継続的に取り組んでいる若年無業者への就労支援は、社会的課題の解決に貢献するものとして、高く評価いただいております。育て上げネット理事長 工藤啓氏からも以下のコメントをいただいています。



< 西友店舗での実習の様子 >

『厚生労働省「ナショナルミニマム研究会」の中間報告によると、基本的に若者が就職できなければかかると想定される社会保障額は 6,300 万円(生活保護費、社会保障費など)とされています。それに対して若者が就職して納税する金額は 5,100 万円であり、若者が一人、生活保護ではなく就労すると社会便益は 1 億円とも考えられます。西友パックを通して毎年 10 名以上の若者がプログラムを受講し、就労を目指しており、その若者たちが将来納税者となっていくことを考えると、社会に与えるインパクトは非常に大きいものだと考えています。』

また、こうした取り組みが評価され、西友が育て上げネットと行う『若者就労・応援パッケージ「西友パック」』の活動は、公益社団法人 日本フィランソロピー協会主催「第15回企業フィランソロピー賞 はたらく幸せ賞」を受賞しました。

西友では、「社会貢献助成プログラム」を通して、親会社であるウォルマートがグローバルで展開している方針に沿って、「機会創出(Opportunity)」「環境(Sustainability)」「地域社会(Community)」の3つの分野で、社会的な課題の解決に向けて活動を行っている団体に対して助成金を拠出しています。今後も、育て上げネットへの助成同様、一人でも多くの方が、その人らしく社会に参加する“機会”を“創出”する一助となるよう、社会的な課題の解決に向けての支援を推進してまいります。

### ■第15回企業フィランソロピー賞 <<はたらく幸せ賞>>受賞



<贈呈式の様子>

#### 【受賞理由】

2013年より「特定非営利活動法人育て上げネット」と連携し、低所得世帯の若年無業者に対して就労支援プログラムの無償提供、店舗での職場実習、交通費支給など、一連の若者就労・応援パッケージ「西友パック」を実施している。子どもの貧困や若年無業者の増加が社会問題化する中、同社の取り組みは具体的な課題解決への道筋を示すものとして評価したい。

※ご参考：第15回企業フィランソロピー大賞 <http://www.philanthropy.or.jp/award/15/>

### ■認定特定非営利法人(認定 NPO 法人) 育て上げネットについて

認定 NPO 法人育て上げネットは、若者支援を「社会投資」ととらえ、無業の状態にある若者の就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」や、その保護者の支援、学校やコミュニティ向けの教育支援プログラムを実施しています。また当事者だけでなく、地域社会・行政・企業と連携した支援者の育成など、多岐にわたる活動を展開し、社会全体で若者を支援する土壌を創っています。「ジョブトレ」ではこれまでに、475人の若年無業者を受け入れ、プログラム修了者のうち約82%が就職を果たし、うち85%が3年以上継続して仕事に就いています。

<http://www.sodateage.net/>